

様式（第8条関係）

審 議 結 果

次の審議会等を下記のとおり開催した。

審議会等の名称	平成25年度 第2回 益田市廃棄物減量等推進審議会
開催日時	平成25年11月29日（金）午前10時40分～12時
開催場所	益田市役所 3階大会議室
出席者	<p>【審議会委員】11名 大久保会長、安藤副会長、石川委員、藤井委員、寺井委員、光永委員、松崎委員、田中委員、渡辺委員、齋藤委員、原委員</p> <p>【事務局】4名 永岡環境衛生課長、石川課長補佐、大谷廃棄物・保全係長、岡本主任主事</p> <p>【欠席者】4名 大畑委員、寺戸委員、村上委員、牛尾委員</p>
議題	<p>【議題1】会長の選任について 【議題2】副会長の選任について 【議題3】諮問案件について</p>
公開・非公開の別	公開
傍聴人の数	無
審議経過	
議題1号	大久保稔会長が推薦により選任された。
議題2号	安藤珠美副会長が推薦により選任された。
議題3号	<p>「益田市廃棄物の処理及び清掃に関する条例に係る消費税改正対応について」</p> <p>平成26年4月からの消費税8%の税制改正を受けての手数料等の改定予定について事務局より説明</p> <p>(1) し尿汲み取り手数料→増税分を手数料に転嫁 現行88円/10ℓ→90円/10ℓ（税込） 価格転嫁しないと収集業者が負担することになるため転嫁した。 県内他市も同様の状況である。ただし、市町合併の関係で、価格を平成24年度まで調整してきた匹見町については、再々の価格改定になるため、説明において配慮していきたい。</p> <p>(2) 指定ごみ袋価格→据え置き 生活必需品であることと、収入減少部分については、行財政改革により経費節減し対応することとしたい。 益田市より価格の安い島根県内他市は価格転嫁予定、同等価格の鳥取市は据え置き予定。</p> <p>(3) 産業廃棄物搬入手数料→据え置き 一般廃棄物と整合性をとるため、据え置きとした。</p>
【質 疑】	

委員	し尿の汲み取り世帯は？
事務局	1万世帯程度である。
委員	ごみ袋の在庫はどれ位あるのか。
事務局	毎年年度末に半年分位ある。
委員	し尿のみ値上げするのは、不公平とならないか。
事務局	浄化槽料金は業者が決定するものであり、市が決定する価格ではない。
委員	し尿は減少傾向にあるか。
事務局	公共下水等の整備により、年々減少傾向にある。
委員	米子市、鳥取市の人口は？
事務局	米子市 15 万、鳥取市 19 万だが、県内他市町は益田市より価格は安い、米子市等は同等の価格のため、動向を参考とした。
委員	有料化当時の価格設定において、ごみ収集経費等参入されているのか。
事務局	ごみ袋大を例にとると、最終処分費、中間処理費、袋作製経費、販売手数料を基に価格を算出している。年間ごみ袋販売売上 9 千万円はごみ処理総経費の 10%程度であるのが現状である。
委員	消費税が 10%となった時には、改めて調査、調整し価格を決定していくのか。
事務局	今後 10%を想定して、価格を検討していく。
答申内容	11月18日の市長からの本審議会への諮問を受けた事項に対する答申するにあたり、委員の間で内容について議論された。
【意見】	
委員	鳥取市等を参考にするのも良いが、生活に密着している萩市を参考にしているかどうか。
事務局	萩市も参考にするため調査したい。
	これに関連した答申の文言変更については会長、副会長で協議し決定することが了解された。
その他	
	事務局より資料 3 に基づき、木製家具の搬入量は多いが、使用できるものは 6%程度である旨の説明と、他市の粗大ごみの手数料状況について説明した。
【意見】	
委員	無料のため搬入量が増加しているところもあると思われる。今後の課題としていただきたい。
委員	家具の引き取りはどう行っているのか。→市が自宅まで直接回収している。今後は業務実施方法を含めて検討するとよい。
問合せ先	福祉環境部環境衛生課 電話 31-0232